

もり おかぎきの森林



岡崎森林組合

令和7年度

組合だより

通刊第6号



- P2 組合長あいさつ
- P3 令和6年度の活動報告
- P4 愛知県からのお知らせ
- P5 岡崎市からのお知らせ
- P6 あいち伐木競技会2024 報告
- P8 岡崎森林組合からのお知らせ

発行日 令和7年5月1日
〒444-3612 岡崎市明見町字田代9番地1
TEL 0564-83-2344 FAX 0564-83-2428
岡崎森林組合 <https://okamori.org/>



新年度の始まりにあたり

岡崎森林組合 代表理事組合長
荻野 昌彦



年度の初めに組合長として皆様にご挨拶申し上げます。日頃より組合員の皆様、地域の皆様には組合活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。皆様の絶大な支えにより地域の森林資源を守り、育てることができています。

ところで、本年2月26日、岩手県大船渡市において発生した山火事のニュースは衝撃的でした。3月9日に鎮火の宣言が出されるまで12日間に及び、焼失面積は大船渡市の約9パーセントにあたる2900haでした。この面積は岡崎市だと7.5パーセントに該当します。いかに甚大であったかが想像されます。しかもこの後、西日本を中心にいくつかの山林火災が発生しています。

これほどの大山火災は別として実はこの数十年前まで小規模山林火災は当地でも頻発していました。冬の乾燥期における火災の危険性を再認識するとともに消防への連絡体制や予防策について検討を重ねる必要があります。決して他所事ではありません。

地球環境や森林・林業における環境変化の中、気候変動の影響や森林の高齢化、林業従事者の減少等、多くの課題が山積しておりますが、これらに対応するためには、新しい視点と技術が不可欠です。これまでに培った知識と経験を活かし、行政や地域のニーズに応える提案力を発揮していきます。



大船渡市現在の上空からの写真(朝日新聞)

本年度、岡崎森林組合では以下の取り組みを重点的に進めてまいります。

1. 持続可能な森林経営の推進

県や市との連携を密にし、地域の特性に合わせ計画的森林整備を徹底していきます。

2. 林業の担い手育成と働き方改革

若手人材の確保と育成のため、安心して働ける職場環境の整備に努めます。

3. 地域との連携強化

全市域における森林環境保全に関するすべての団体と連携し、リーダーを目指します。

4. 新技術の導入と情報共有

ICT等の新技術により森林管理の効率化を図り、資源の最適な活用に繋げていきます。

5. 環境教育と啓発活動

将来に繋げるため、保育園から大学・地域団体等と連携して環境教育活動に取り組みます。

以上をポイントといたしまして役員及び職員一同、一丸となって今年度も組合運営を進めてまいります。常にスキルアップを意識し、地域社会への貢献を目指して活動してまいりますので、今年度も組合員や関係者の皆様のより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



大船渡市三陸町伐採跡の焼失現場写真(共同通信)

① 燃料保管庫新設 (2024年4月)

これまで個人の道具棚に保管していた現場担当職員の個人所有ガソリンタンクを火災防止の観点から専用の保管庫に集約することにしました。防犯対策も含め温度や通気管理がされています。



② 新プロセッサ導入 (2024年4月)

大型高性能林業機械のプロセッサを新規導入しました。伐倒した木の枝払い・測尺・玉伐りを現場で連続して行う機械です。今後のニーズを考え、安全面も考慮しスムーズな現場対応のため増設しました。



③ 保育園で木育活動 (2024年7月)

例年にならない市内数か所の保育園に出向き、木のおもちゃに触れて遊んでもらう活動をしています。毎回、元気なちびっこ達から私たちがパワーをもらっています。最後には園児の一人ひとりに「木の玉子」がプレゼントされました。



④ チェンソー講習会 (2024年10月)

岡崎森林組合を会場に、林災防(林業・木材製造業労働災害防止協会)主催のチェンソー講習が開催され、講師を当組合の香川グループリーダーが勤めました。このところ講習会の予約はすぐに埋まる盛況ぶりです。



⑤ 植林イベント (2025年3月)

アイシン(株)様と岡崎森林組合主催による植林イベントが雨山町の宮崎財産区有林の皆伐地において開催されました。従業員と家族の皆様約100人と森林組合職員及び財産区管理委員の皆様他約30人が参加し、2,520本のヒノキ苗を植栽しました。





次世代森林育成事業

人工林を花粉の少ない森林に 若返らせませんか？

高齢化した人工林の若返りを図り、森林資源の循環利用や花粉症対策を推進するため、令和元年度からスギ・ヒノキ人工林を皆伐した後に行う植栽や獣害対策等に対する支援を実施しています。

これまでの他の補助事業では、最大で県が定める標準単価の70%程度でしたが、本事業では100%補助します。また、令和6年度からは、今まで補助対象とならなかった伐採・集材^(※)、獣害防止柵の点検も補助の対象となりました。(※適用条件あり)

この機会に皆伐して収入を残したい、木を植替えたいというお考えがあれば、お気軽に御相談ください。事業を実施する前に申請が必要になりますので御注意ください。

なお、皆伐の実施については、岡崎森林組合担当：池田(敏)または近藤まで御相談ください。

【補助の対象】

- 伐採、集材(手入れ不足の高林齢の人工林に限る) **New!**
- 花粉症対策苗木の植栽 (スギ、ヒノキ、有用広葉樹等のコンテナ苗)
- 獣害対策
- 保育(下刈り、除伐、植栽地の見回り) **New!**

【事業の主な条件】

- 木を植える面積が0.1ha以上であること(保安林は対象外)
- 植栽密度は原則1,500本/ha
- 協定を県と締結(20年間皆伐、転用を行わない等)
- 植栽と合わせて獣害対策(獣害防止柵もしくは単木ガード)を実施 ※獣害対策は県が示す仕様を満たすものに限る
- 伐採・集材が対象外でも植栽・獣害対策の補助申請は可能
- 保育の補助は本事業で植栽・獣害対策を実施した箇所が対象



皆伐再造林後の状況

県が定める標準単価の**100%**を補助します!

【補助額の試算例】

■ 1haの人工林を皆伐し、少花粉ヒノキを1,500本植栽して480mの獣害防止柵を設置した場合

伐採・集材	約207万円(適用条件あり)
地 拵 え	約18万円(片付のみ)
植 栽	約65万円
獣 害 対 策	約130万円
合 計	約420万円

※各種条件により金額は変動します。



コンテナ苗(少花粉スギ)

主伐再造林に関する他の補助金もあります。興味のある方はお問合せください。

愛知県西三河農林水産事務所林務課まで

☎0564-27-2730 または ☎0564-27-2731

お問い合わせ

次世代森林育成事業
についてはこちら



愛知県がめざす循環型林業
についてはこちら

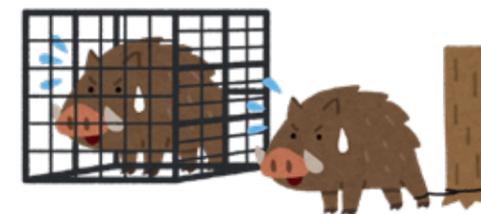


こちら、 岡崎市役所 中山間政策課 です。

令和6年に中山間政策課と森林課は合併しています。

1 地域づくり係 (☎0564-82-4123)

- ・中山間地域活性化
- ・有害鳥獣対策
- ・ぬかたブランド協議会 など



2 林政企画係 (☎0564-82-3102)

- ・森林経営管理制度
- ・啓発イベントの実施
- ・市産材の普及 など



3 森林整備係 (☎0564-82-3152)

- ・林道や作業道の管理
- ・森林に関する届け出や補助金
- ・建物の施設管理 など



岡崎市役所 中山間政策課 (代表番号)

☎0564-82-4123

〒444-3696

岡崎市榎山町山ノ神21-1(旧 額田町役場 跡地)

額田センター 2階



伐木競技で岡崎森林組合が2位と3位に

愛知県で2回目となる「あいち伐木協議会2024」が東栄ドームで開催されました。

競技は「伐倒競技（簡易方式）」と「丸太合わせ輪切り競技」の2種目で、1mm単位での計測審査が行われる厳しさの中、県内の林業経営体13社から16名の参加により争われました。チェーンソー操作の正確さが競われますが、それ以上に安全性が重視され、普段の伐倒作業にたいする姿勢が問われる競技です。

事前研修会や組合での練習会に取り組んだ二人が昨年第1回大会で優勝した大井班長に続き優秀な結果を残してくれました。



最優秀賞	(優勝)	豊田森林組合	奥谷仁人
優秀賞	(2位)	岡崎森林組合	夏目元貴
優良賞	(3位)	岡崎森林組合	筒井竜乃介

※ 敬称略

日々の業務と伐木競技会

夏目元貴

大会に出場するまでは現場での技術と大会での技術は異なる物だと思っていました。日々の作業では「自分なり」に考えながら伐倒作業をし、目立てを行っていました。しかし、「自分なり」の考えであって「基準」が無かったので作業を行うたびに違う方法を試しながら手探りでやっている状態でした。

大会に向けての練習を始めてから、教科書通りの切り方をするだけだと思ってやっていたら意外と上手く行かず自分のチェーンソーワークの未熟さを実感しました。昨年チャンピオンの大井さんに指導をしてもらいながら少しずつ調整していき、チェーンソーの持ち方から目立てのやり方などの基礎基本を一から学び直す事により大会ではいい成績を残すことができました。

日常の作業では意識していてもこなすだけの作業になりがちですが、「自分なりの基準」ではなく「根拠のある確かな基準」を確立する事で日々の作業を「再現性のある安全な作業」に行う事に繋がると思います。

この経験を通して、日々の作業における意識の徹底が、自分の技術や安全性に繋がっている事を学びました。今後も、日常の業務に対する真摯な姿勢を忘れず、チェーンソーを扱う技術と安全意識を高めながら、日々の業務に努めていきたいと思っています。



伐木競技会を通じて得たもの

筒井竜乃介

第2回伐木競技会が開かれるということで、岡崎森林組合代表として参加しました。前大会では当組合の大井さんが見事優勝し、それに続けと意気込んでの参加でした。

しかし大会に臨む前の練習で、自分の技量の足りなさを思い知ることになります。私は林業に携わってから4年目でしたが、単純な受け口や追口切りの精度が思っていたより悪く、普段は不安定な作業をしていたようです。また大会では安全さが非常に重視されており、危険行動のペナルティは結果を覆すには十分なほど大きなものです。これも意外と難しく、普段の「まあいいか。」「大丈夫だろう。」という気持ちからくる行動が癖となっていました。それでも大井さんからの的確に指導をして頂き、大会前には格段にチェーンソーワークの技術や精度を上げることができ、また安全を重視した行動を癖にすることができました。

そうした臨んだ大会ですが、結果は3位。一番の反省は焦って伐倒方向が大きすぎてしまったこと。ですが危険行動はなくペナルティはなしとすることができました。

それから幾月か経ち変わらず伐倒を続けているわけですが、作業の安定度がかかなり増したように思います。ミスがあった時も直ぐに修正をすることができ、大会で培ったものが自分の芯となったように感じます。応援や指導して下さった方、特に大井さんにはとても感謝しております。大会に参加して本当に良かったです。



組合の仕事紹介 ～調査・測量～

森林整備グループ サブリーダー 門脇隆宏

山林のお悩み相談承ります

山林の所在地（隣地境界の調査）をはじめ、森林資源の把握に要する調査（毎木調査や標準地調査）を行っています。最近ではGIS（地理情報システム）ソフトの発展に伴い、パソコン画面上で地形、航空写真を確認しながら、所在地の目星をつけることができるようになりました。事前にある程度の山の情報を把握し、その上でGPS機能付きのタブレット端末を使うことで、現地で地図上のどの位置にいるかの確認をしながら現地調査を行うことで、以前よりも所在地の確認や森林資源の調査を行いやすくなりました。

山の手入れのご相談をいただいた山主様へは、森林資源の調査をもとにどのような施業を行っていくか検討し、提案をしています。もしご自身の山を知りたい、山の手入れをしてほしいなどご要望がありましたら、お気軽にご相談ください。



総代の皆様へ

岡崎森林組合 第51回 通常総代会のご案内

期 日 令和7年6月25日(水)

今年も平日開催ですのでご注意ください。

会 場 岡崎市額田センター こもれびかん

詳しくは、追ってご案内いたします。

また今回号は総代の皆様にのみ発送しています。

名義確認のお願い

相続などで山林所有者の変更・住所変更などがございましたら、お電話やホームページのお問い合わせ等でご一報ください。届出用紙をお送りします。

他にも住所・氏名の変更や間違い、古い名義のままのものがございましたら、岡崎森林組合までご連絡をお願いします。

※山林・不動産の名義変更とは異なります。森林組合では不動産登記は行っておりません。

〈必要な書類〉

- ・持分承継加入申込書(組合からお送りします)
- ・山林を相続したことが分かる書類(遺産分割協議書、固定資産税の納税通知書など)

岡崎森林組合 〒444-3612 岡崎市明見町字田代9番地1

TEL 0564-83-2344 FAX 0564-83-2428

ホームページの「お問い合わせ」
(<https://okamori.org/contactform.html>)

